

本リーフレットに掲載した内容を
以下の動画で詳しく紹介しています

事業承継・引継ぎ支援センターにおける支援内容の紹介



四国における事業承継の実態分析



【第三者承継 事例紹介】
うどん店からラーメン店へ 心をつなぐ事業承継



視聴期限：2024年3月31日（日）まで

事業承継に関して専門家に相談したい方は、
お近くの事業承継・引継ぎ支援センターへ！
事業承継のための様々なノウハウを提供しサポートする公的な相談窓口です。

徳島県事業承継・引継ぎ支援センター
(徳島商工会議所)

〒770-8530
徳島県徳島市南末広町5番8-8号
徳島経済産業会館1階

TEL：088-679-1400



香川県事業承継・引継ぎ支援センター
(高松商工会議所)

〒760-8515
香川県高松市番町二丁目2番2号
高松商工会議所会館1階

TEL：087-802-3033



愛媛県事業承継・引継ぎ支援センター
(公益財団法人えひめ産業振興財団)

〒791-1101
愛媛県松山市久米窪田町487-2
テクノプラザ愛媛別館1階

TEL：089-948-8511



高知県事業承継・引継ぎ支援センター
(高知商工会議所)

〒780-0870
高知県高知市本町4-1-32
こうち勤労センター4階

TEL：088-802-6002



経営者の皆様へ

廃業はもったいない!

事業承継 まずはご相談を! 一緒に考えてみませんか

事業承継は企業の存続だけでなく、取引先・地域経済へも影響を与える大きな経営課題です。
一人で悩まずに、まずはお近くの事業承継・引継ぎ支援センターへご相談下さい。

事業承継の方法

「親族内承継」、「従業員承継」、「M&A」の3つに大別され、それぞれに悩みはつきものです。
四国4県の事業承継・引継ぎ支援センターでは、中小企業者・小規模事業者の皆様の事業承継に関する相談内容に対して一緒に検討します。

1 親族内承継

～親族に事業を引継ぐ～

親族への事業承継は、中小企業で最も多い事例といえます。後継者に対する客観性や、他の親族の存在を考慮した事業承継の整理が必要です。

子どもに
社長としての
器があるか?



他の親族への
相続の配慮は?

2 従業員等への承継

～従業員等に事業を引継ぐ～

従業員等に事業承継を実施する際には、経営権のバランスや資金負担を考慮した譲渡スキームを構築する必要があります。後継者である従業員へのスムーズな事業承継をお手伝いします。

株式譲渡は
どうしよう?



個人保証の問題を
どう解決する?

3 M&A

～第三者に事業を引継ぐ～

事業の譲渡ではM&A（合併・買収）がよく知られています。M&Aに関する情報提供や、不安や疑問点を解消するためには、専門家のアドバイスや支援を受けることが効果的です。

うちみたいな
零細企業は
買収対象に
なるのかな?



債務超過企業は
M&A
できるのか?

第三者に事業を引き継いだ事例を紹介しています ▶▶▶

Be a Great Small.
中小機構

独立行政法人中小企業基盤整備機構 四国本部

〒760-0019 香川県高松市サンポート2-1
高松シンボルタワー タワー棟7階



うどん店からラーメン店へ 心をつなぐ事業承継

～事業承継・引継ぎ支援センターと商工会の支援による第三者承継事例(高知県土佐郡土佐町)～

高知県事業承継・引継ぎ支援センターに相談したきっかけ

2016年5月に高知県土佐郡土佐町にオープンした「うどん処 繁じ」。地域の方々に愛され、観光客も集まる人気のお店でしたが、2022年3月に前経営者である店主が急逝したことがきっかけで、5年間続いた店を閉めることになりました。店主の妻の伊藤秀美さんは、地域のためにも「繁じ」を誰かに引き継いでもらいたいと思っていました。最初は知人への声掛けやSNSを通じて引継ぎ手を探していましたが、しかし、地元で事業を引き継げる若手人材が不足しており、後継者探しは難航しました。伊藤さんが困っていたところに、土佐地区商工会の経営指導員の窪内さんが相談に乗り、窪内さんが伊藤さんへ、高知県事業承継・引継ぎ支援センターの横山さんを紹介しました。



後継者決定

一方で、大阪府で暮らしていた河端浩史さんは、将来的には自然の豊かな地域に移住したいと考え、Youtubeやインターネットで情報収集していました。河端さんがポータルサイト「高知家で暮らす。」で「繁じ」の引継ぎ情報を目にし、四国という土地にも魅力を感じ、後継者に応募しました。



その後、事業承継・引継ぎ支援センターから連絡があり、早速現地で面談が行われました。事業承継・引継ぎ支援センターや商工会、伊藤さんとの面談の場で、河端さんは事業や移住への思いを伝えました。1週間後、事業承継・引継ぎ支援センターから連絡があり、複数の候補者の中から河端さんが後継者に選ばれました。

事業開始

河端さんは家族との話し合いのうえ、当時の仕事を退職し、事業開始に向けた準備を始めました。河端さんは近隣のコンビニやスーパー、飲食店などで市場調査を実施し、ここでラーメン店なら開業できるという感覚は持っていましたが、資金に余裕があったわけではありませんでした。「繁じ」の設備がどれくらい活用できるかや業績などの確認、地域からの補助金、また大阪府からの移住のため、地域での生活や住まいについて、町役場を中心に相談に乗ってもらいました。



高知県事業承継・引継ぎ支援センターの支援

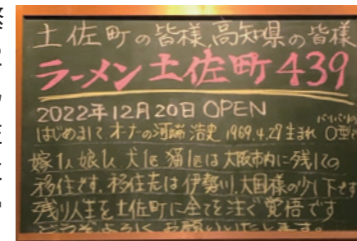
事業承継・引継ぎ支援センターは、事業承継の進め方や契約のサポートのほか、補助金が得られるまでの繋ぎ資金として金融機関を紹介しました。さらに、店舗運営についてもアドバイスしました。事業承継・引継ぎ支援センターと商工会の二人三脚でのサポートの結果、河端さんは事業承継をスムーズに進めることができました。

土佐地区商工会の支援

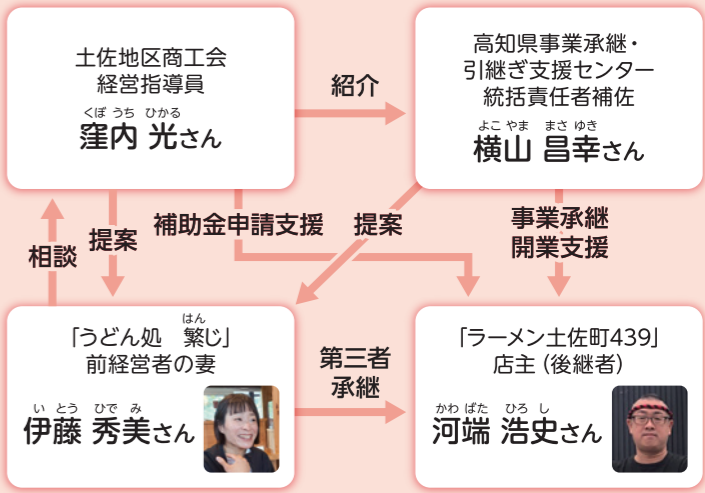
ラーメン店の開業のため、河端さんはうどん店だった「繁じ」の設備の大半を活用できることがわかりましたが、店舗改装などの開業準備にはどうしてもある程度の資金が必要でした。商工会が補助金の申請書やプレゼン資料の作成方法をサポートし、土佐町の補助金(土佐町しごと創生スタート事業費補助金)を得ることができました。



地元でも繁盛店だった「繁じ」の基盤を譲り受け、2022年12月に開業した河端さんのラーメン店「ラーメン土佐町439」は、地元の従業員にも支えられ、現在も順調に営業しています。



事業承継相関図



事業承継フロー

- 1 地元の繁盛店の「うどん処 繁じ」の経営者が急逝
- 2 経営者の妻の伊藤さんが引継ぎ先を探すも難航、土佐地区商工会の窪内さんに相談
- 3 窪内さんが高知県事業承継・引継ぎ支援センターの横山さんを紹介
- 4 横山さんの提案で高知県移住ポータルサイトに引継ぎ情報を掲載
- 5 引継ぎ情報を目にした河端さんが後継者に応募
- 6 伊藤さん、商工会、センターを交えた面談の末、応募者の中から河端さんに決定
- 7 大阪府からの移住、開店に向けて各種支援を受け、「繁じ」の設備と想いを引き継ぎ、「ラーメン土佐町439」を開業

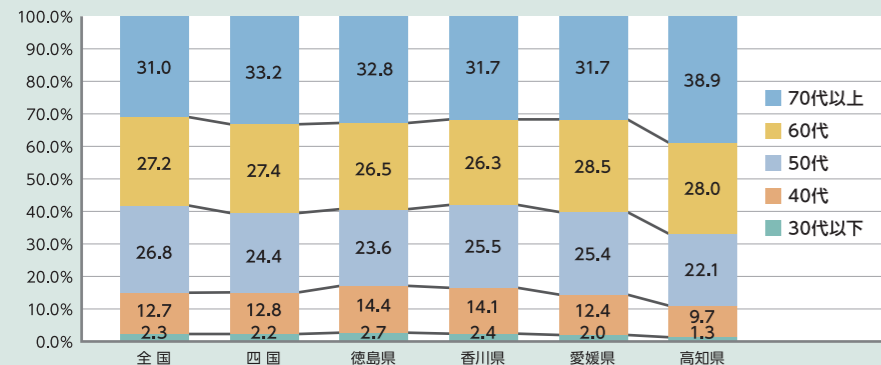
ラーメン土佐町439



店舗概要
 所在地: 高知県土佐郡土佐町
 開業: 2022年12月
 従業員: 9名
 薄味の「塩ラーメン」が看板メニュー。

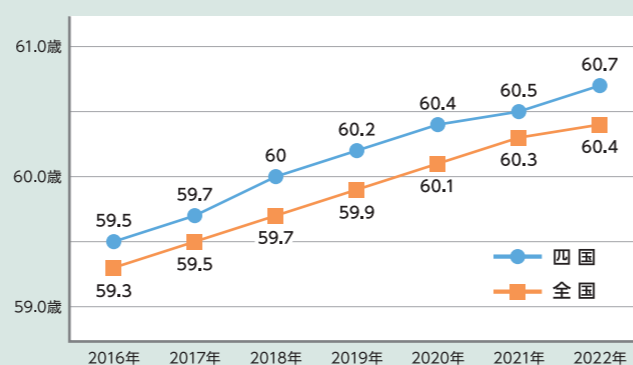
四国の事業承継の実態分析

代表者の年代別割合(生年未詳除く)



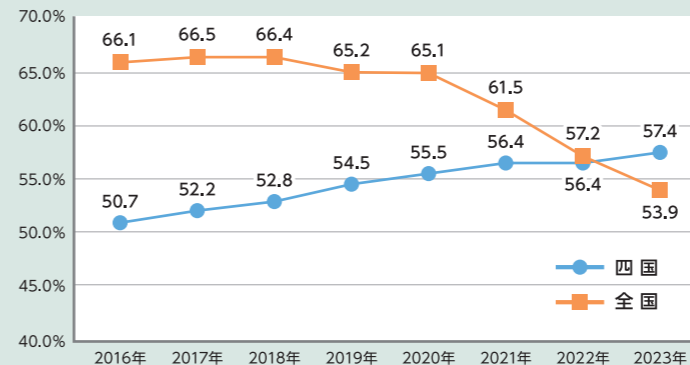
※株式会社帝国データバンク「企業概要ファイル(COSMOS2)」より作成(2024年1月時点)

代表者平均年齢の推移



※株式会社帝国データバンク「特別企画:全国「社長年齢」分析調査(2022年)」を基に作成

後継者不在率の推移



※株式会社帝国データバンク「特別企画:全国「後継者不在率」動向調査(2023年)」を基に作成

2024年1月における企業の代表者の年代別割合は、全国では60歳以上の割合が58.2%であるのに対し、四国では60.6%となり、特に高知県では顕著な数字となっております。

代表者平均年齢においても、全国的に上昇傾向にありますが、四国は常に全国よりも上回っております。

後継者不在率は、全国では年々下がっているのに対して、四国は緩やかに上がり、2023年には全国よりも高くなりました。

事業承継は地域経済に影響を及ぼす重大な課題です。近年、中小企業者・小規模事業者においても第三者承継(M&A)の件数は増加傾向にあります。

経営者の皆様は今一度事業承継について検討していただき、お近くの事業承継・引継ぎ支援センターお気軽にご相談いただきたいと思います。